

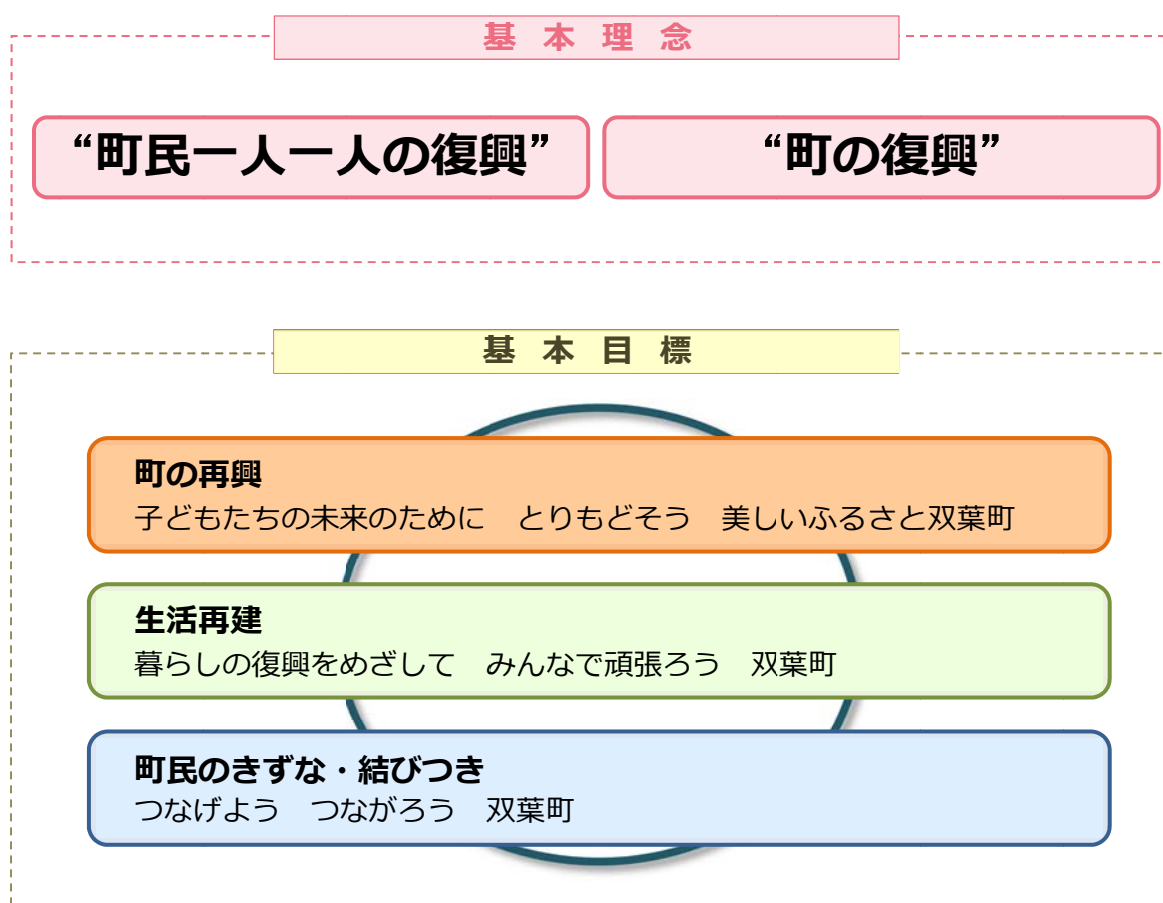
## Ⅱ章 復興まちづくりの基本構想

双葉町の復興まちづくりの基本理念である「町民一人一人の復興」と「町の復興」を進めるため、「双葉町復興まちづくり計画（第二次）」においても、「町の再興」、「生活再建」及び「町民のきずな・結びつき」の3つの基本目標の下、計画を策定しました。

## Ⅱ章 復興まちづくりの基本構想

### 1. 復興まちづくりの基本理念と基本目標

- 「双葉町復興まちづくり計画（第一次）」において、双葉町の復興まちづくりの「復興像」として、2つの基本理念と3つの基本目標を定めました。
- 第二次計画においても、この考え方を踏襲し、『“町民一人一人の復興”と“町の復興”をめざして』を基本理念とし、3つの基本目標の下で、双葉町の復興に向けて全力で取り組んでいきます。



## 2. 双葉町の再興に向けたイメージ

## (1) 双葉町の将来像

## 双葉町の6つの将来像

## 将来像 1

町民のきずなを繋げるまち



## 将来像 2

ふるさと双葉町の記憶を  
次世代に引き継ぐまち

## 将来像 3

新たにみんなで作りあげる  
魅力的なまち

## 将来像 4

新たな産業を創出し継続的な  
雇用を生み出すまち

## 将来像 5

次世代の双葉町を担い世界に  
貢献する人材を育てるまち

## 将来像 6

災害を克服し安全・安心に  
暮らせるまち

## 将来の姿（町再興期のイメージ）

- 双葉町とのつながりが保たれています。
- 交流の促進が創出されています。
- 町の復興のシンボルが創られています。

- 双葉町の記憶が伝承されています。
- ふるさとへの思いや良さが継承されています。

- 新たな生活の場が確保されています。
- 中心市街地が再生しています。
- 生活・産業を支えるインフラが整備されています。

- 魅力的な雇用の場が確保されています。
- 産業（農業・商工業）が再生しています。
- 復興を牽引する新たな産業が創出しています。

- 人材育成・教育により、次世代の町民が活躍しています。
- さらに次の世代に対する高度な教育環境も整備されています。

- 津波災害への備えが進み、減災対策が図られています。
- 暮らしの安全対策が確保されています。
- 健康的で生き生きとした生活がなされています。
- 原発の廃炉が確実に進んでいます。
- 中間貯蔵施設が安全に運営・管理されています。

## (2) 復興まちづくりの3つの視点

### ● 多様な立場・考えの相互理解、町民一人一人の選択の尊重

震災から年数が経過する中で、町民の置かれている状況は様々です。町としても、町民一人一人の選択を尊重しながら復興まちづくりを推進します。

### ● 民間と行政との協働による町民の力の結集

双葉町の復興は、民間の力だけでも行政の力だけでも成しえませんが、まちづくり会社等を活用した、民間と行政との協働により、町民主体の復興まちづくりを推進します。

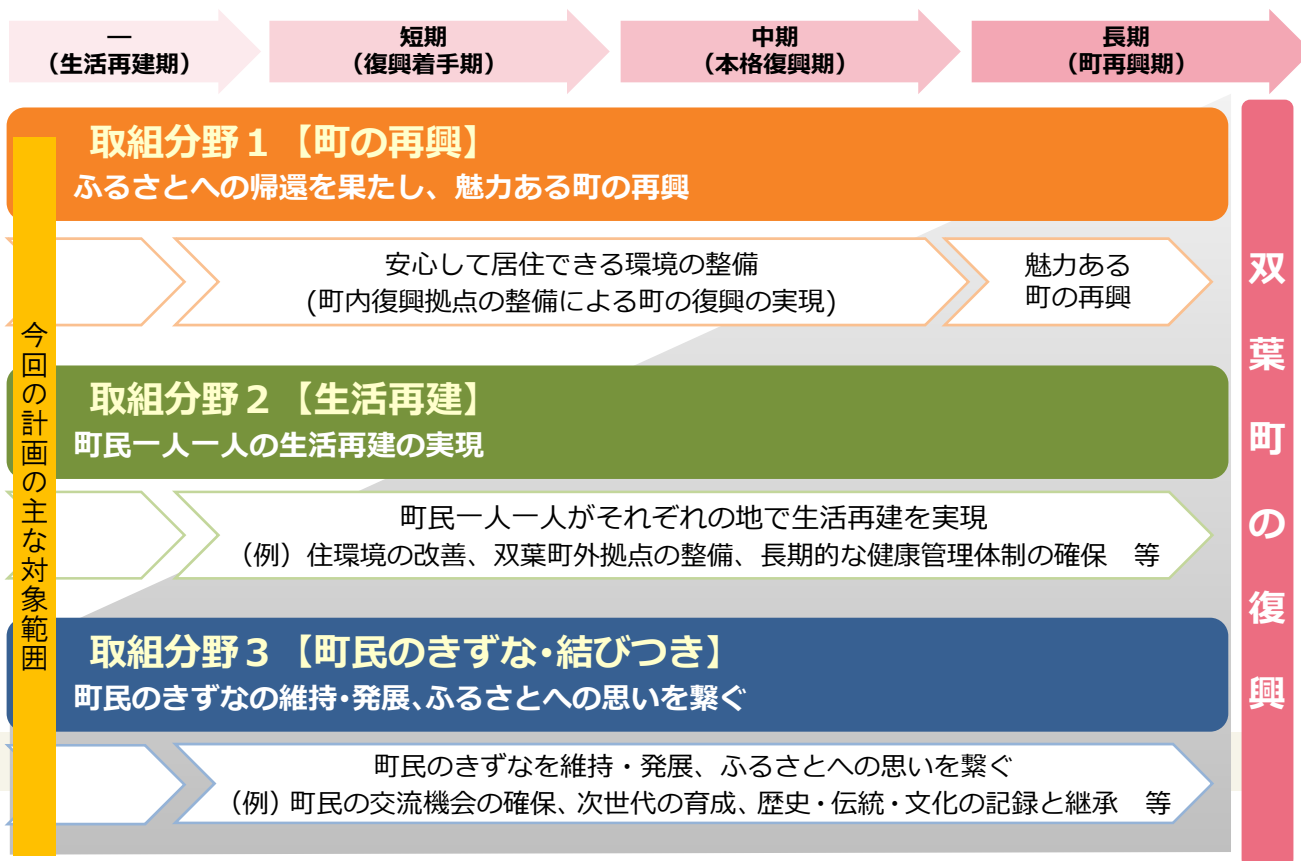
### ● 広域連携による双葉郡の力の結集

双葉町を含め、双葉郡の復興に向けた取組は今後とも続きます。こうした中、周辺市町村との広域連携を図り、双葉郡の力を結集した復興まちづくりを目指します。

## (3) 双葉町の復興・再興に向けた3つの取組分野

○双葉町の将来像を思い描きながら、町の復興に向けて段階的に取り組んでいきます。

○双葉町への帰還が可能となるまでには、今後とも年単位の時間が必要です。そのため、第二次計画においても、復興まちづくりの基本目標に沿い、大きく3つの取組分野に分類して復興に向けた各種取組を進めていきます。



## 施策体系図

